

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	観光ボランティアガイド育成事業		担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市観光振興計画	
基本政策(大項目)	4	活力とにぎわいあふれる鳴門づくり	事業期間	開始	平成 19 年度
政策(中項目)	2	観光発信！魅力都市なると			終期
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり			
基本事業	2	受け入れ態勢の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 講座受講者及び観光客														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	近年、団体旅行から個人・家族を単位とした旅行が主流となりつつある中、観光客にとってボランティアガイドに対するニーズが高まっている。こうした状況を踏まえ、観光客とふれあいながら、本市の観光資源を紹介・案内できる市民参加による「なると観光ボランティアガイド」の育成を図る。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光ボランティアガイド数</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	観光ボランティアガイド数	26	28	30	35	40	人
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位										
観光ボランティアガイド数	26	28	30	35	40	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	鳴門市観光協会と連携しながら養成講座を開講した。 現ボランティア会員と協議・連携しながら、市民主体の観光ボランティア組織の組織力強化を図り、ガイドコースの設定や運営方法などについても市民協働のもと行った。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名			22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標	1	観光ボランティアガイド養成講座	12	12	12	12	12	回
	2							
成果指標	観光ボランティアガイド数		26	24	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			85.7	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位
事業費	(財源内訳の合計)	300	300	300	300	300	千円
財源内訳	国	300	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	300	300	300	300	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,303	1,303	1,303	1,303	1,303	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		1,603	1,603	1,603	1,603	1,603	千円

【事務事業名：観光ボランティアガイド育成事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	引き続き、観光ボランティアガイド養成講座を開催する。 また、養成講座受講者がボランティア会員として定着していくような組織づくり、体制強化を図っていく。 ボランティアガイドの周知や利用を促進するため、各種イベントへの参加やガイドの拠点作りを検討していく。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	個人単位や家族単位の観光客のさまざまなニーズに対応するためには、観光ボランティアを育成していく必要がある。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 観光・交流のまちづくり の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	観光ボランティアガイドが観光資源の紹介・案内をすることにより、観光客の満足度が向上する。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
4	<input type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	養成講座受講者がガイドとして定着するための組織づくりや事業の実施方法について検討する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	育成されたボランティアガイドを効果的に活用するため、十分な周知を行いながら、観光客のニーズに対応するため新たな観光コースの設定も行わなければならない。また、観光客の需要を満たすだけの人材確保のためには、養成講座の継続が必要であり、ボランティアガイドが定着していくような組織づくりを進める必要がある。現在は事前予約制のガイド実施となっているが、各種イベントへの参加や休日限定のガイド活動拠点を設置することで、ガイドの利用促進・周知を行っていくことも重要である。
-----	---

今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
--------	------	-------	--------	------	---

↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。

今後の改革案	実施予定時期	平成25年度 <input type="button" value="▼"/> 月未定 <input type="button" value="▼"/>
	どのように改革するのか	養成講座を受講した人がボランティアガイドとして定着できるような組織づくりをすすめると同時に、ガイド活動の拠点づくりを検討する。